



にしだ 悠人 くん ③
H22.5.7 生 (伊方 大黒団地)



しばがき りこ ちゃん ②
H23.5.15 生 (赤池 南町)



はなおか げん くん ②
H23.5.9 生 (金田 東金田)



にしがわ 純心 ちゃん ②
H23.5.5 生 (赤池 昭和町)



さいとう れいか くん ①
H24.5.26 生 (神崎 南木)



たけやま れいご くん ①
H24.5.22 生 (金田 高見町)

1歳~3歳のかわいい笑顔あつまれ

お子さんの笑顔をお誕生日の記念に紙面に飾ってみませんか。締め切りは、毎月お誕生日の前月10日まで(土・日・祝日の場合は翌開庁日)。今月は6月に誕生日を迎える1歳から3歳までのお子さんの写真を募集します！

5月10日 までに役場窓口でお申し込みください。

※ 締め切りまでに必ず申し込みをしてください。期限を過ぎると掲載できません。

※ デジカメの場合はデータをお持ちください。

▶ 役場総務課広報担当(本庁3階) ☎ 22-0555




かき ねな ちゃん ③
H22.5.22 生 (弁城 森町)



つきまた ゆうか ちゃん ③
H22.5.21 生 (金田 東金田)



ながすえ るま ちゃん ③
H22.5.19 生 (金田 宝見)



もちまる ゆうき くん ③
H22.5.15 生 (弁城 新町)



にしい れん くん ③
H22.5.12 生 (伊方 野添)



こまつ さくら ちゃん ③
H22.5.9 生 (赤池 ひまわり)

福智にひっそりと咲く淡黄緑の桜

→ 日本国外でも人気の高い希少な桜



井上春代さん(西金田) 宅の土手沿いに植えられた鬱金桜が、今年も美しい花を咲かせました。この桜は、数百種ある桜の中で唯一、淡い黄緑色の花を咲かせる珍しい品種。樹齢はまだ30年ほどの桜ですが、写真家や植物通たちがこぞってこの桜を見に行く姿が見られました。

空に躍った手作りのこいのぼり

→ 揚がったこいのぼりに大喜びの園児



4月18日に神崎保育所で、園児3~5歳児が作ったこいのぼりが大空を泳ぎました。大きな目玉が特徴のこいはビニール製で、うろこには園児の手形や似顔絵が描かれています。先生がこいのぼりを揚げると、園児たちは歓声をあげながら三匹のこいを見守っていました。

劇団すぎのこが支援センターで初公演

→ 参加者を笑顔にした劇団すぎのこ



子育て支援センターに3月15日、全国で公演を行っている「劇団すぎのこ」がやってきました。16組の親子の前で、ハラハラドキドキの冒険劇「たのきゅうのうわばみ退治」を熱演。まるで生きていくかのような人形たちの動きに、参加した親子は劇の世界に引き込まれていました。

元気のない虎尾桜を樹木医たちが診察

→ 診察する小河先生(左)と宇佐美先生



福智のシンボルツリー「虎尾桜」の今年の開花は、枝枯れが多く、例年より寂しい姿でした。そこで「虎尾桜を心配する世話人会」が樹木医に診察を依頼し、4月21日に状況を確認。予想より痛みがひどいため、今後、周辺整備を含めた総合的な治療方針が示される予定です。

会員たちの生きがいCDに

→ 完成を喜ぶ平野さんと木戸さん



「福智町文化連盟の歌」のCDが完成しました。1月にテーマソング作りが提案され、日本作詞家の木戸勝正さんが作詞、小松久行さんが作曲し、平野アキ子さんが協力してCD化。会員の総力が結集したこのCDは、文化連盟主催行事のBGMとして使用される予定です。

47の感性がギャラリー陶を彩る

→ 入魂の作品がスラリと並んだ会場



4月10日からの6日間、上野の里ふれあい交流会館で「三彩会青陽会合同作品展」が開かれました。11回目を迎えた今年には47作品が出品。会場には100人以上の絵画ファンが福岡や北九州からも足を運び、会員たちが1年間で制作した力作の数々に見入っていました。

お釈迦様の生誕を甘茶で祝う

→ 釈迦の像に甘茶をかける園児たち



お釈迦様の誕生日である4月8日に、金田保育園で「花まつり」が行われました。これはお釈迦様の誕生を祝うことで、人を敬う気持ちを育ててもらおうと行っている恒例行事。この日はお迎えにきた保護者にも甘茶が振る舞われ、園内は花と甘茶の香りで包まれていました。

古代のロマンに触れた2日間

→ 考古学ファンを魅了した伊方古墳



田川地区最大級の横穴石室である伊方古墳が、4月20日から2日間公開されました。県内外から考古学ファンなど約30人が訪れ、普段は公開されていない古墳の内部を見学。来訪者は石室の大きさや丁寧に作り込まれた内部に触れ、遠い昔に思いをはせていました。